

2025 年度(令和 7 年度)

学校関係者評価報告書

学校法人 ダニエル・ノーマン記念学園

軽井沢幼稚園

1. 評価の目的

本園では、教育・保育の質の向上を図るため、教職員による自己評価を実施し、その結果を学校関係者評価としてまとめ、理事会・評議員会に報告するとともに、公表いたします。

2. 評価実施方法

2025 年度事業計画に基づき、全教職員が以下の 8 項目について自己評価を行いました。

評価項目

1. 園全体
2. 安全
3. 地域連携
4. 働き方・教師としての成長
5. 保育内容
6. 保護者対応
7. 研修
8. 卒園後のつながり

評価基準

- A: 十分達成されている
- B: 達成されている
- C: 取り組まれているが成果が十分でない
- D: 取り組みが不十分である

3. 評価結果総括

(1) 総合評価

全体として、A 評価が大半を占め、2025 年度の教育・保育活動は良好に実施されました。特に以下の点で高い評価が得られました。

高評価項目

- 一人ひとりの子どもに寄り添う保育
- 教職員間の協力体制
- 保護者との信頼関係構築
- 地域との交流活動
- 卒園児との継続的なつながり

(2) 項目別まとめ

① 園全体

「この園に通ってよかった」「この園に勤めてよかった」と感じられる園づくりについて、多くの肯定的評価がありました。保護者対応・教職員連携ともに温かな関係づくりが実践されました。

→ 評価:A

② 安全

事故・大きなけがはなく、安全管理意識は高く保たれました。一方で、登降園時の安全確認、死角確認、園外活動時の人数確認について改善継続が必要です。

→ 評価:B

③ 地域連携

グループホーム交流、地域行事参加、バザー等を通じ、地域とのつながりが深まりました。地域に根ざした幼稚園として良好な成果が見られました。

→ 評価:A

④ 働き方・教師としての成長

教職員間の助け合い、役割分担、有給休暇取得のしやすさなど、職場環境改善が進みました。一方で、情報共有時間の確保が課題です。

→ 評価:B

⑤ 保育内容

子ども一人ひとりを大切にする保育が実践され、個別支援への意識も高まりました。
チーム保育の質の向上も進んでいます。

→ 評価:A

⑥ 保護者対応

丁寧な傾聴、コドモン活用、日常的な連絡共有が高く評価されました。
信頼関係づくりが安定しています。

→ 評価:A

⑦ 研修

外部研修・園内研修・オンデマンド研修とも充実していました。
一部、参加頻度に差が見られるため、継続改善が必要です。

→ 評価:A

⑧ 卒園後のつながり

夏休み小学生プログラムが好評で、卒園児との関係維持に成果が見られました。
今後は制度化・継続運営体制の整備が課題です。

→ 評価:A

4. 成果

主な成果

- ・ 保護者満足度の高い保育の継続
- ・ 地域交流活動の充実
- ・ 教職員の協力体制向上
- ・ 卒園児ネットワークの拡大

- 安全意識の向上

5. 今後の課題

1. 登降園時安全管理の更なる徹底
2. 情報共有時間の確保と業務効率改善
3. 若手職員育成と研修機会均等化
4. 卒園児支援活動の継続体制整備
5. 地域発信の強化

6. 学校関係者評価委員からの意見

理事より、引き続き子ども達の安全安心を守るようにとの意見があった。

遊具の点検方法や不審者対応についても確認があった。

7. 承認

本報告書は、2026 年 6 月 10 日開催の理事会・評議員会に報告し、承認を受けました。

8. 公表

本評価結果は、学校法人ダニエル・ノーマン記念学園軽井沢幼稚園ホームページに掲載し、公表します。